

科目ナンバリング	U-SCI00 33412 LJ58				
授業科目名 <英訳>	物理気候学 Climate Physics	担当者所属・ 職名・氏名	理学研究科 准教授 重 尚一		
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2025・前期
曜時限	金3	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
科目番号	3412				
<b>【授業の概要・目的】</b>					
雲・降水過程や放射過程など、大気の非断熱過程を中心に解説し、地球の気候形成の素過程を物理的に理解することを目指す。					
<b>【到達目標】</b>					
気候の記述的知識ではなく、大気圏物理学の基礎を学ぶことによって気候形成・変動のメカニズムを物理的に理解する。					
<b>【授業計画と内容】</b>					
以下の各項目について講述する。講義の進め方は、受講者の理解度に応じて適切に決めることとする。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) イントロダクション【1週】</li> <li>(2) 大気熱力学【3～4週】</li> <li>(3) 雲・降水過程【3～4週】</li> <li>(4) 放射過程【5～6週】</li> </ul>					
<b>【履修要件】</b>					
前期開講の「地球流体力学」を並行して受講することを強く勧める。					
<b>【成績評価の方法・観点】</b>					
平常点（30点）および定期試験（筆記；70点）で総合的に評価する（100点満点）。					
<b>【教科書】</b>					
使用しない					
<b>【参考書等】</b>					
（参考書） 授業中に紹介する					
<b>【授業外学修（予習・復習）等】</b>					
予習はとくに必要としないが、毎回復習することが望ましい。					
（その他（オフィスアワー等））					
毎回講義の感想についてアンケートをとる。アンケートに理解困難な部分を記述すれば、次の講義最初にその部分について復習する予定である。					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					